

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題4-イソプロピルアニリンのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験試験番号

92056

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン No.203「魚類急性毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：4-イソプロピルアニリン
- 2) 試験生物：ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 3) 生物数：10尾／1試験区(1連に付き5尾で1試験区10尾)
- 4) 暴露期間：96時間
- 5) 暴露方式：半止水式(24時間毎)
- 6) 試験濃度：80.0、53.3、35.6、23.7、15.8、10.5 mg/L(公比：1.5)及び対照区
- 7) 連 数：1試験区に付き2連
- 8) 試験液量：1試験容器(1連)に付き2.5 L
- 9) 試験水温：24±1℃
- 10) 照 明：室内光、16時間明／8時間暗
- 11) エアレーション：なし
- 12) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)
(暴露開始時、換水前)

結 果

- 1) 96時間の半数致死濃度 (LC50) =45.5 mg/L (95%信頼限界：35.6～53.3 mg/L)
- 2) 0%死亡最高濃度=35.6 mg/L
- 3) 100%死亡最低濃度=80.0 mg/L
(上記濃度は、全て設定濃度に基づく)

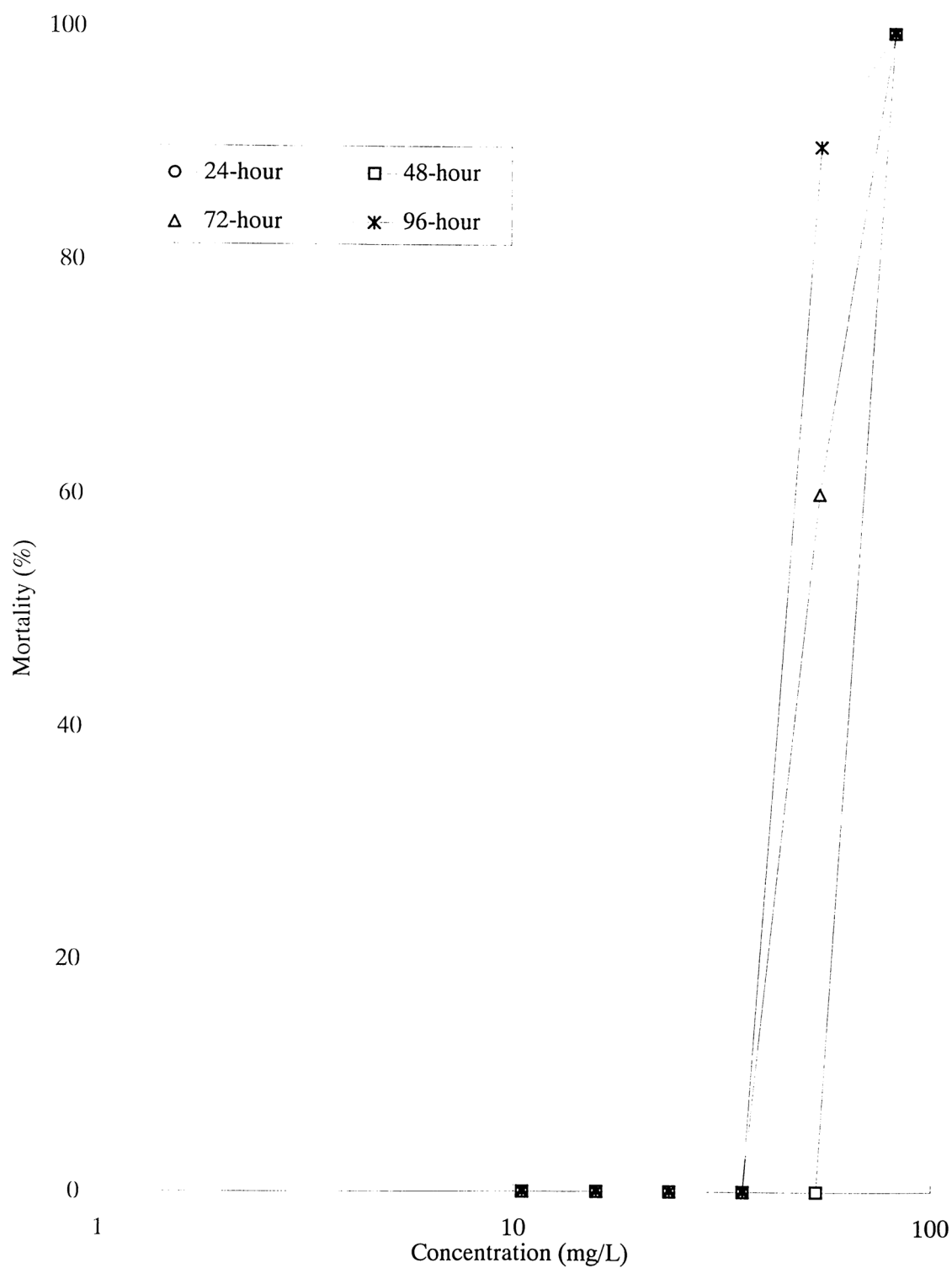


Figure 1. Concentration - toxicity curve of 4-isopropylaniline in orange killifish (*Oryzias latipes*) .

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

4-エチル-1, 1'-ビフェニルの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

9 B 4 5 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201「藻類生長阻害試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: 4-エチル-1, 1'-ビフェニル
- 2) 暴露方式: 止水式(密閉), 振とう培養(100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度(設定値):
対照区, 助剤対照区, 0.0100, 0.0220, 0.0480, 0.105, 0.230,
0.500 mg/L
(公比: 2.2, 助剤濃度一定: 2 mg/L, HCO-40使用)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連数: 3 容器 / 濃度区
- 8) 初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度: 23 ± 2 °C
- 10) 照明: 4000 lux (±20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分析法: HPLC法